

『地元で着々と政策を実現』

全国初の自動運転実証実験と都市部初の農家レストランを実現

現在、経済産業大臣政務官として政府内で自動運転の早期実現にリーダー役として邁進していますが、今年3月に藤沢市大庭のライフタウンで、大規模なものとしては全国で初となる実証実験が成功裏に終わりました。ロボットタクシー株式会社が実施し、募集に応じた藤沢市民50人以上が体験乗車してくださり、ご高齢の女性から「うちのお父さんの運転よりも安心して乗れた」というコメントもいただきました。メディアからも注目され、大きく報道されました。自動運転実現の目的は、交通事故の激減と撲滅です。事故原因のおよそ9割は、人為的な運転ミスです。最近でも人命にかかわる痛ましい事故が続発しています。さらに、過疎地などでの交通弱者への「足」としての期待も高まっています。

「農家レストラン」も、都市部では全国初（農業地域を含めても全国3例目）として藤沢市遠藤に開設されます。農地は農業以外には使ってはならないというこれまでの農地法などによる規制を緩和したもので、「国家戦略特区」制度（神奈川県全域が指定）の規制緩和メニューを活用したものです。地元産の食材を一定割合以上使ってもらうことが条件で、農産物の直売施設の「レストラン版」として注目されています。藤沢市や寒川町など湘南地域の農業は一般的に都市型農業と呼ばれ、周辺に消費者の方々が多く住んでいることが最大の強みです。改革意欲に富む農業者や関係者への波及も期待されます。都市型農業のさらなる発展に今後とも汗を流してまいります。

星野つよしのプロフィール

昭和38年8月8日生まれ
藤沢市立長後小学校・藤沢市立長後中学校・
神奈川県立鶴嶺高等学校 卒業
昭和58年 4月 日本大学法学部新聞学科入学
昭和62年 6月 ニューヨーク「エルミラ大学」
国際関係学科卒業
昭和63年 3月 日本大学法学部新聞学科卒業
昭和63年 4月 産経新聞社に入社 社会部記者
平成 2年 4月 政治部に配属、首相官邸・外務省・
自民党など担当し平成 5年3月退社
平成 7年 4月 神奈川県議会議員初当選（当時31
才最年少県議会議員、以降、連続三
期当選）
平成20年 2月 藤沢市長選に立候補 42,020票獲
得するも約2,800票差で惜敗
平成22年 6月 自民党神奈川第12区選挙区支部長
公募で得票率88.13%を得て支部
長に選任
平成24年12月 第46回衆議院議員選挙立候補
73,476票を獲得し小選挙区で初当選
平成26年12月 第47回衆議院議員選挙立候補
83,327票を獲得し小選挙区で二期
目当選
平成27年10月 第3次安倍改造内閣において
・経済産業大臣政務官
・内閣府大臣政務官
・復興大臣政務官就任
の3つの政務官に就任
平成28年6月現在 仕事、家事、子育て、介護などで、
真面目に働いている全ての人々が、
安心して、心豊かで幸せを感じなが
ら暮らせる社会を実現するため、地
元の藤沢市、寒川町で、そして、被
災地や国会で、命懸けで頑張ってい
ます。（家族：妻、一女、一男）

星野つよし 連合後援会事務所 自民党神奈川第12選挙区支部

〒251-0052 藤沢市藤沢973相模プラザ第3ビル1F

TEL0466-23-6338 FAX0466-23-6339

H P: <http://t-stars.com>

Mail: hosino@t-stars.com

星野つよしフェイスブックにて日々更新中!!
<https://www.facebook.com/hossys>



星野つよし事務所では自由民主
党員を募集しております。
党員になって、星野つよしを応援
しませんか？
お問合せ左記事務所まで!!



自民党員募集中!



(昭和30年月15日第三種郵便物認可)
自由民主 号外号
LIBERAL & DEMOCRATIC
自由民主党ホームページ
<http://www.jimin.jp>
発行
自由民主党
〒100-9910 東京都
千代田区永田町1-11-23
電話 03-3881-6211

発行元：自由民主党神奈川県第12選挙区（藤沢・寒川）支部 支部長
〒251-0052 神奈川県藤沢市藤沢973 相模プラザ第3ビル1F
TEL:0466-23-6338 FAX:0466-23-6339

<http://t-stars.com> @hossys Hoshino tsuyoshi(星野剛士)

星野つよし

—平成28年 特別号—
(夏号)



皆様こんにちは。お世話になっております。衆議院議員 星野つよしです。日頃から私の政治活動に対し、ご理解とあたたかいご支援を頂戴し、誠にありがとうございます。国会閉会を機に、ホシノシンブン特別版を発刊させていただきました。

おかげさまで、昨年10月の内閣改造で、経済産業大臣政務官、内閣府大臣政務官、復興大臣政務官の3つの政務官を拝命致しました。これは、

日頃からの皆様のご支援の賜物であり、衷心より感謝申し上げます。

3つの政務官を兼務しているため、平日は、分刻みで予定が入り、土日も被災地などへの出張が入ることが多くて地元になかなか戻れません。ご支援いただいております皆様とお会いしてお話をしている時間が減ってしまい、大変申し訳なく思っておりますが、日本を再生するという使命を帯びて全力を尽くしているためでございますので、ご理解、ご容赦いただければ幸いです。

これからも、「一人ひとりのために、日本のために。」をモットーに、仕事、家事、子育て、介護などで、真面目に働いている全ての人々が、安心して、心豊かで幸せを感じながら暮らせる社会を実現するため、地元の藤沢市、寒川町で、そして、被災地や国会で、命懸けでがんばってまいりますので、引き続き、あたたかいご支援、ご指導を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。



最後に、7月には参議院選挙が行われますが、私は親しい三原じゅん子さんを全力で応援しております。皆様のあたたかいご支援を、三原じゅん子さんをはじめ、自民党の仲間たちへ賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

経済産業大臣政務官、内閣府大臣政務官、復興大臣政務官
衆議院議員 星野つよし

次のコーナーでは、『政務官日記』と題して、私の、政務官としての活動の一部をお伝えさせていただきます。ぜひご覧ください。

『星野つよし政務官日記』（政務官としての活動の一部を紹介）

皆様のご支援のおかげで、昨年10月の内閣改造で、経済産業大臣政務官、内閣府大臣政務官、復興大臣政務官に就任しました。就任以来、皆様へのご恩返しを胸に刻み、寸暇を惜しんで、地元のため、日本のために全力で頑張っております。そんな、私の政務官としての活動の一部を紹介させていただきます。



▲政府を代表して多くの委員会等で答弁に立つ
2015.12.4 経済産業委員会答弁

(次のページへ)

『星野つよし政務官日記』（政務官としての活動の一部を紹介）



▲福島県郡山市 企業視察、商工会議所創立記念式典出席、よろず支援拠点視察（2015年11月）
郡山商工会議所創立90周年記念大会



▲大阪府大阪市 エネルギーミックス関連シンポジウム出席（2015年11月）
エネルギーミックス関連シンポジウム



▲鹿児島県種子島 H-II A29号機の打ち上げ視察（2015年11月）
種子島宇宙センター



▲宮城県仙台市、女川市 日伊ビジネスグループ（IJBG）会合への出席及び女川町長との面会、企業視察、福島第一原子力発電所等視察（2015年11月）
福島第一原子力発電所にて



◀石川県、福井県 志賀原発、織維産地の視察（2015年12月）
ドラマ『下町ロケット』桜田経編のモデルとなった福井経編興業を視察



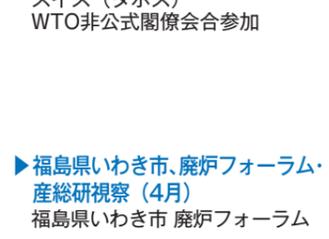
▲スイス（ダボス）WTO非公式関係人会合参加（2016年1月）
スイス（ダボス）
WTO非公式関係人会合参加



◀神戸医療産業都市視察（2016年2月）
大日本住友製薬株式会社
神戸再生・細胞医薬センター視察



▲国家戦略特区 農家レストランの推進（2016年5月）
2016.5.8 神奈川新聞 1面



▶福島県いわき市、廃炉フォーラム・産総研視察（4月）
福島県いわき市 廃炉フォーラム



◀エチオピア出張（5月）
チリガ アフリカ連合委員会官房長とのバイ会談

『星野つよし地元活動日記』（地元での活動のほんの一部を紹介）

政務官という政府の一員として、国会にいないといけない時間が長く、被災地訪問や各種出張なども多かったため、地元に戻れる時間が減ってしまい、大変申し訳なく、また、寂しく思っています。しかし、そんな中でも少しでも時間があれば地元に戻り、皆様との触れ合いを大切に、お声をしっかりと伺ってまいりました。そんな私の地元活動のほんの一部を、写真で紹介させていただきます。



▲お祭りなど地元のいろいろな行事に積極的に参加



▲恒例の早朝街宣・藤沢駅での街宣・募金活動



▲地元の寒川町長選挙・藤沢市長選挙



▲2015.12.16東京オリンピックセーリング競技成功のため遠藤利明五輪担当大臣の江の島視察を実現させる



▲国政報告会・新春賀詞交換会



賃金アップ 雇用環境も大幅改善

安倍政権が2012年12月に発足し、「アベノミクス」を掲げて日本経済の立て直しに奮闘努力して3年半が経過しました。この間に、消費税率8%への3%アップや、年明けからの新興国の経済悪化、特に中国経済の減速などもあり、少なくとも15年以上も続く「デフレ経済」からの完全脱却にはあと半歩というところにあります。

6月1日に安倍総理が発表した「消費税率10%への再引き上げは、2年半の延期」も、伊勢志摩サミットで合意した世界経済のリスクに備え、デフレ経済からの完全脱却を確実に実現したいとの信念に基づくものです。一方で、賃金は、3年連続で今世紀に入って最高水準での賃金アップを実現し、雇用環境は、大幅に改善しています。野党などが叫んでいる「アベノミクスは失敗した」という批判のための批判は、全くの的外れです。

まず、賃金について見てみましょう。労働組合連合の調査では、春闘の賃上げ率は、2014年から2016年まで3年連続で、2%以上となっています。今年の春闘では中小企業の賃上げ率も大きく上昇しています。一人当たりの実質賃金（物価変動の影響を排除したもの）は、この3月、前年同月比プラス1.6%と2カ月連続でプラスです。雇用環境は、有効求人倍率（一人当たり何件の求人があるか示すもの）は、直近の4月で、1.34倍と24年

5カ月ぶりの高い水準であり、史上初めて47都道府県全てで1倍を超えました。ちなみに、民主党政権時には、1倍を切り、0.8倍程度で低迷していました。完全失業率も3.2%と民主党政権時の4.7%から大きく改善しています。賃金や雇用環境は、着実に改善しています。

次に、格差についてです。野党などは、「格差が拡大している」と批判していますが、これも「批判のための批判」の代表例です。格差を論じる場合に、国際的にも定着している「ジニ係数」を使うことが最も適切です。「ジニ係数」とは、所得分布の均等度を示す指標で、0に近づくほど格差が小さく、1に近づくほど格差が大きいことを示しています。特に、税金や健康保険料などを支払った後、すなわち所得再分配後の「ジニ係数」の推移を見ることが必要です。それによれば、2002年が0.38だったのに対して、2013年最も同じく0.38であり、格差の拡大は見られません。国際的な比較でも、米国や英国よりも小さな数値です。

今後とも、より一層の賃金アップと雇用環境の改善に全力で取り組むと共に、保育所への待機児童の解消や低年金者や低所得者への支援など一億総活躍社会の実現に向けた充実策も着実に実行に移してまいります。